

ルノデアル何トナレハ子持しだノ葉ハ餘リ黃連ノ葉ニ似タ處ガ無イカラデアル

次ニでんだノ意味デアルガ是ハれんだノ轉訛ナラント思ハル先年或人ガ理科大學植物學教室へ舊本草家竹内某所製腊葉數百種ヲ寄附セシ事アリシ時其腊葉中ニいはれんだト記名セシ標品アリシヲ見タリ然レバいはでんだハ元ハいはれんだトモ呼ビシモノナルハ明ナリれんだトスレバ連朶ノ意トナリ葉ノ欠刻ノ並列セルヲ表ハス事トナリ意義アル名稱ト云フ事ヲ得ベシ又おしやごしでんだノおしやごしハ松井某ノ羊齒目錄ニヨレバおしやくじでんだ、おしやごしでんだ木曾社貢司ノ森ニアルヲ以テ名ニ呼ブト云ナリトアリ、聊カ所見ヲ述ブトイフ

○數字ニ敏感デアリタイ

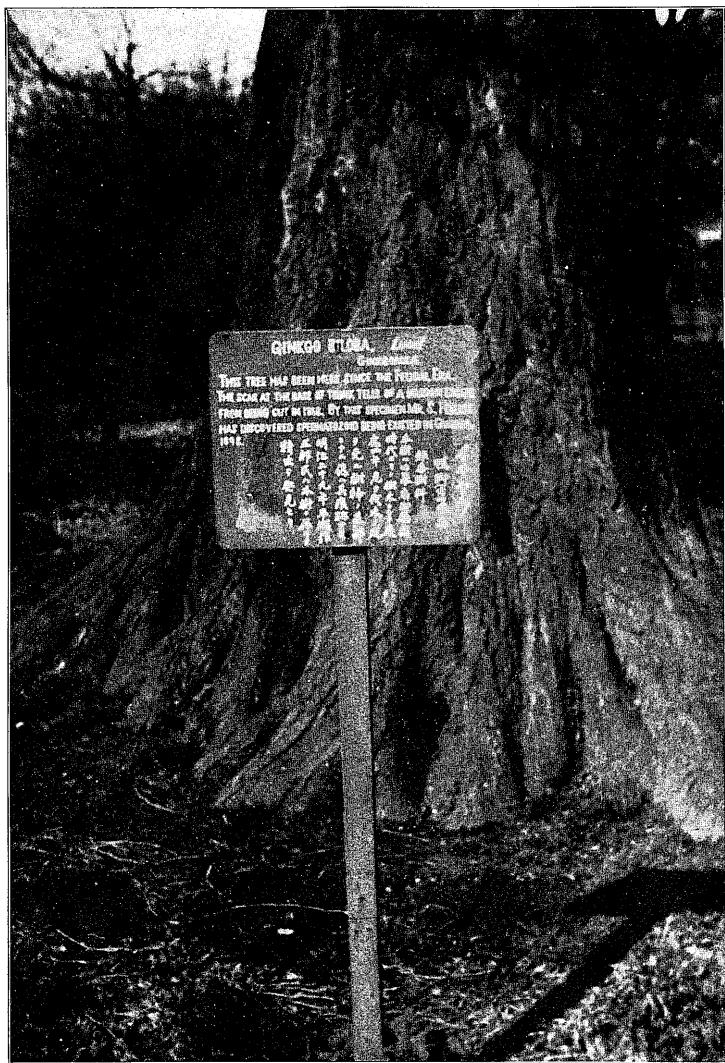
小 南 清

由來植物學ハ精密科學ノ領域ヲ去ルコト遠イ故コノ學ニ携ハル我々ハ數量ニアマリ重キヲ置カヌ爲メ往々數字ニ誤ガアツテモ無關心デアル場合ガ少クナイ、普通ノ文章ニ誤字脱字ガアツタトテ全ク意味ノトレヌ程ノコトモナイガ數字ハ單的ニ或ル感念ヲ表現スルモノデアルカラ一字デモ間違ッテハ意味ヲ成サナクナル、コレヲ使用スルニ當テ一字一畫モ忽ガセニデキヌ、筆者ハ嘗テ雜誌『科學知識』ノ依囑ヲ受ケテソノ餘白ニ面白イ數的問題(コレハ植物學上ノ問題デハナカッタガ)ヲ或ル佛語ノ雜誌カラ抄録シタコトガアツタ、時ノ編輯長ハ殊更ニ筆ヲ加ヘテ書キ改メ全ク無意味ノ數式ヲ作ツテシマツタ、發行セラレタノヲ見テ直ニ正誤ヲ申込ダガ彼ハコレヲ肯ゼズ單ナル誤植ニ過ギズト放言シテ罪ヲ印刷工ニ着セ拭フコトノデキヌ汚點ヲ『科學知識』誌上ニ殘シテシマツタ、誤植ハ印刷物ニ附キ物ノ如ク考ヘ罪ヲ印刷工ニ歸スルノハ「ジャーナリスト」ノ慣用手段デハアルガ決シテ良心アル科學者ノ學ブベキコトデハナイ

細胞ノ發見者 ROBERT HOOKE ガ Micrographia ヲ發行シタ年號ヲ或ル學者ハ一六六五年トシ他ノ學者ハ一六

六七年トスル、原著ヲ持タヌ我々ハソノ何レヲ採ルベキカニ迷ハザルヲ得ナカッタガ綜合科學出版協會刊行ノ『組胞發見の記録』ヲ見テ兎モ角一六六七年ガ誤デナイコトヲ知ツタ山羽氏ノ著書『細胞』ノ第一頁ノ書キ出シニハ「西曆一六六五年(我が靈元天皇の寛文五年徳川四代將軍家綱の代)の或る夏の午後のことであつた、英人ロバート・フック云々」ト細胞發見ノ歴史ヲ詳述シテキル、確ナ典據ニヨツテ書カレタトスルト恰モ發見ノ年ガ一六六五年デコレヲ發行ノ年ト誤リ傳ヘテ一六六五年說ガデキタ様ニモ考ヘラルガ、シカシ我國ニモ一六六五年版ヲ所藏サルル學者ガアルト聞クシ三好教授ノ『植物學講義』ニモ二ツノ版本ノ存スル事ヲ指摘サレテアルカラ何レモ正シイノデアロウ、唯ココニ疑問ノ種ノ殖エタノハ英本國デ發行ニ成ツタ『大英百科全書』ロバート・フックノ條下ニ「ミクログラフィア」ヲ一六六四年ト記シテキルコトデアル、此年號ハ書イタ年デアルカ發行ノ年デアルカ不明ダガ何レニシテモコノ年號ニ誤ガ無ケレバ發見ハ一六六四年カ若シクハ其以前デナケレバナルマイ、數一字ノ差デコノ様ナ面倒臭イ疑義ガ生ズルノデアル

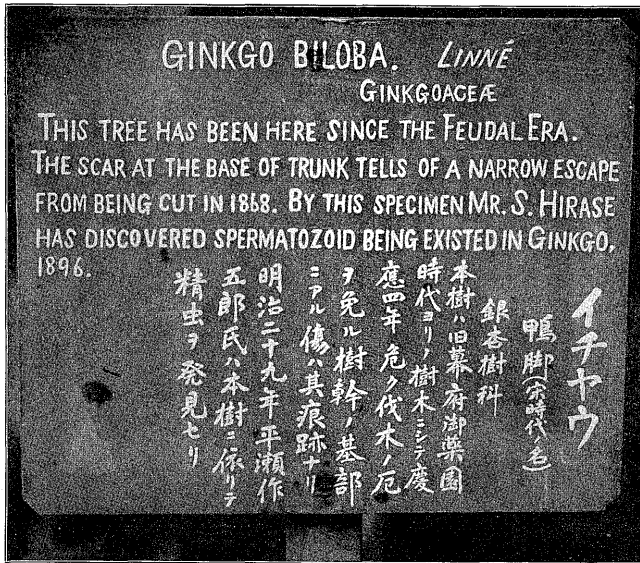
平瀬作五郎氏がいちやうノ精蟲ヲ發見シタ年ガ明治二十九年(西曆一八九六年)デアルコトハ『植物學雜誌』第十卷ヲ見レバ明カデアル、同年四月二十五日ノ例會席上同氏ハ花粉管内ノ精蟲ト認ムベキ生殖細胞ヲ報告シ越エテ同年九月上旬受胎期ニ際シ精蟲ガ花粉管ヲ出テ游走スル狀態ヲ確カメ翌月號ノ第十卷第百十六號ニ發表シタ、然ルニ平瀬氏が精蟲ヲ發見シタアノ紀念スベキ原本即チ小石川植物園ニ現存スル大いぢやうノ建札ニ和文デハ明治二十九年トアルニモ拘ハラズ英文デハ此處ニ掲ゲタ甲寫眞ノ様ニ一八九八年ト記シテキル、何時頃此ノ札ガ建テラレタカラ知ラヌガ古サカラ見テ昨今ノモノデハ無カロウ、今日迄コレヲ見タ學者モ少ナクナイコトト思フガ其ノ誤ニ氣付イタ人ガ無カッタト見エル、筆者ハ去ル二月十二日必要ガアツテ此ノ樹ノ撮影シ建札モ共ニ「カメラ」ニ收メタノデアッタガ焼付ケテ見テ和英兩文二年號ノ喰ヒ違ヒノアルコトヲ知ツタ譯デアル、若シ此ノ建札ノ「ノート」ガ不用意ニ書物ニ轉載サレタトシタラ後日ニ疑義ヲ生ズルノハ前述「ミクログラフィ



(甲) 小石川植物園内いちょう樹ノ建札

(昭和五年二月十二日撮影)

ア」ノ場合
 ト同様デア
 ル(此撮影
 後ソレガ幸
 ニ 1866 ト
 訂正セラレ
 タコト正ニ
 次頁ニ掲グ
 ル乙寫眞ノ
 如クデ其點
 我々ハ大ニ
 安心シタ)、
 我々ハ西洋
 人ノ著作殊
 ニ獨逸人ノ
 書キ物ニハ
 其ノ精確サ
 ヲ期待シ無
 條件ニコレ



(乙) 他カラノ注意ニヨリ建札ニ在ル歐文末ノ年號ノ訂正ガ出來タモノ
(昭和五年三月上旬撮影)

ニ從フ傾向ガアルガ數字ノ問題ニナルト信ヲ措ク能ハザルモノガ夥シイ、殊ニ引用書目ノ年號ノ如キハ誤謬枚舉ニ暇ナシト言ッテヨイ

Engler und Prantl. Die natürlichen Pflanzenfamilien. 二云ハ植物分類學上ノ聖典トモイハレ押シモ押サレモセヌ良書デハアルガコレヲ讀ムニ當テ細心ノ注意ヲ要スル、其ノ一例ヲ舉グレバ一昨年ノ夏デアッタ臺灣森林植物ノ視察ニ赴ク際豫カジメ地理の分布ニ關スル豫備知識ヲ得ンガ爲メ同書第二版第十三卷(一九二六年)所載臺灣ノ部ヲ讀デ見ルト垂直的の分布ニ著シイ誤ヲ見出シタ、最高峯新高山ハ陸地測量部ノ觀測ニ據ルト一萬三千三十五尺即チ三九五〇米デアアル(尤モ明治三十年頃ニハ一三六七八五尺即チ四一四五米ト觀測サレタ)シカルニ同書ニハいたかびやくしん、しまびやくしん等ノ分布ガ四〇〇〇乃至四三〇〇米トアルカラ新高山ヨリモ高ク宙ニ浮イテキルコトニナル、其以下ノ高度ガ誤テキルノハ勿論デアアル、思フニ

早田教授ノ研究報告ヲ引用スルニ當テ呟ヨリ「メートル」ヘノ換算ヲ誤マツタモノデアロウ
W. Pfeffer. Pflanzenphysiologie. 植物學研究者ノ座右ニ缺クベカラザルモノデ植物生理ヲ取扱ツタ書物

ハ大抵此ノ書ヲ引用スル、生長ノ速イ例トシテ舉ゲタ Alfred Möller 氏ノ研究ニ成ル所ノきぬがさたけガ一分間五「ミリメートル」ト云フ數字ガ能ク歐米ノ書物ニモ轉載サレ甚ダシキハ子實體ガ此ノ割合デ延ビルモノ如クニ誤リ傳ヘテキルノヲ見ル、筆者ハ以前カラ此ノ數字ニ疑ヲ持テキタノデアルガ A. Möller ノ原著ヲ見ル機會ヲ持タナカッタノデ折アラバコレヲ測定シテ見タク材料ノ採集ニツトメタ、シカシナガラ遂ニ得ルコトガ出來ナカッタ、偶々一昨年駒場ノ樹木見本園内ニきぬがさたけニ近イすっぽんたけ、かにのつめ、つまみたけ等ガ多數發生シタノデ夫等ノ生長ヲ自記生長計ヲ用ヒテ測定スルコトガ出來タ、其ノ結果ハ多數ノ材料中最モ速イ時デ一分間一「ミリメートル」デアル、ソコデ益々前掲ノ記事ニ疑ヲ深メ漸ク A. Möller ノ原著 *Brasilische Pilzblumen*. (Schimper's Botanische Mittheilungen aus den Tropen, 1895, Heft 7.) ヲ取寄セテ讀ムト一分間五「ミリ」ニ數的ノ誤ハ無カッタガ併シコレハ例外トモイフベキ「レコード」デ他ノ植物ノ生長ト比較スルニハ適當デ無イコトヲ知ッタ

A. Möller 氏ハ一八九〇年カラ一八九三年ニカケテ總數十二個ノ材料ヲ得テ測定ヲ行ツテキルガ五「ミリ」トイフノハ唯ダ一例デシカモホンノ一分間ダケ即チ一八九二年二月十四日午後五時二十五分カラ同二十六分ニ至ル一分間デアル、ソノ後ハ二分間ニ五「ミリ」、三分間ニ五「ミリ」ト減ジテキル、惜イコトニ五時二十五分以前ノ記錄ガ無イ、きぬがさたけガ一分間五「ミリ」延ビタノハ此ノ一分間ヲ除イテ後ニモ先ニモ無カッタノデアル、決シテ此ノ割合デ延ビタノデハナイ、亦同氏自身モ普通ハ一分間ニ二「ミリ」ヲ越エタモノハ無イコトヲ特ニ斷ツテキル、ソレデきぬがさたけノ子實體ノ生長速ヲ最大一分間二「ミリ」ト見ルノヲ適當ト考ヘル、ソレニシテモきぬがさたけハ矢張り「レコード・ホールダー」タルコトヲ失ハナイ、ココニ注意スベキハ「マント」ノ如ク子實體ヲ被フ所ノ網皮體ハ可ナリノ速サデ擴ガリ一分間五「ミリ」以上ニ達スルモノデアル、歐米ノ學者ガ單ニ子實體ノ生長ヲ云々シテ居ルニ拘ハラズ、恩師三好教授ハ其ノ著『植物學講義』ニ此原著ヲ引用

こんにやくトやまこんにやくトニ就テ述ベル

セラレ子實體トハセズ明ニ網皮體ト記シテ居ラルル、此様な些細ナ點マデ一々原著ヲ參照サレテ居ルノニ思ヒ及ブト今更ナガラ先生ノ用意周到デアラル、コトニ敬服セザルヲ得ナイ、フェツフアー氏ノ生理學ノ記事ヲ以テシテハ子實體カ網皮體カ明カデナイノデアル

誤謬ヲ氣ニスル筆者自身モ編輯事務ニ當テハ校正ヲ誤リ自分デ自分ヲ抓ツテ見ルコトモ度々アル、ヲコガマシク他ノ誤謬ヲ云々スル資格ハ無イガ數字ノ誤ヲ見ルニツケ何トナク其ノ記事ノ内容マデモ疑ハシク感ズルコトガアル、御互ニ數字ニハ敏感デアリタイ

こんにやくトやまこんにやくトニ就テ述ベル

理學士 大槻 虎男

こんにやくハ分類學上天南星科ニ屬シ學名ヲ *Amorphophallus Konjac* C. Koch. ト云ヒ、漢名ハ蒟蒻、和名ハ蒟蒻、こんにやく或ハここにやく(古爾也久)ト稱シ我國デハ廣ク栽培セラレ古クヨリ食品トシテ用ヒラレ我國人ニハ誠ニ親密ナ植物デアアル、こんにやくニヨク似タ植物デ九州ニ限ラレテ野生シテキルモノニやまこんにやくガアル、コレハ牧野博士ガ一九一一年植物學雜誌ニこんにやくノ變種トシテ發表シ三年後一九一三年同誌上ニ獨立シタ種ト改メラレタモノデアアル學名ヲ *Amorphophallus kiusianus* Makino. トニフ

こんにやくハ小石川植物園ニ栽植シテアルモノハ六月初ニヤット一、二寸ノ芽ガ出テ來ル、芽ノ伸ビル時期ガ非常ニ遅レテキルガ他ノ書物例ヘバ草木圖說ナドニハ四五月頃伸ビルヤウニ記シテアル、花ヲ出ダスノハ稀デ相當老年ニナラヌト(六年位以上)着ケナイヤウデアアル、花ノ芽ハ葉ノ芽ニ先立テ五月頃生ズル先ヅ長サ五寸許アル長卵形ノ肉ノ厚イ紫褐色ノ斑點ヲ有スル(コノ斑點ハ葉柄ノ表面ニ現ハレルモノト同ジ模様ヲナシテキル)數枚ノ鱗片ヲ出ス鱗片ヲ展イテ長サ一尺足ラズ直徑六、七分ノ花莖ガ伸長スル、コノ表面ニハ赤褐色ノ斑